



2012年 11月 発行 第5号
 和泉観光ボランティアクラブ
 〒594-0041
 和泉市いぶき野五丁目1-1
 泉北高速鉄道と泉中央駅構内
 TEL/FAX 0725(56)5200



世界の観光・バカバカしい三大テーマ！

シンガポールのマールライオン ブリュッセルの小僧小僧 コペンハーゲンの人魚姫。『この物語はどっから生まれてきたんだろ？』と頭をひねる。でもこれ等を目的として観光に訪れる人に「自分が作る観光の楽しみ方を見つけてみませんか！」と問いかけているように思われる。

キツネの物語で知られている葛の葉神社がある。誰も本当にキツネが人間に化けた等信じる人はいないでしょうが、でもなんと

なく楽しくロマンがある。

近在に喫茶がある。どこにでもあるような店だが、そのトイレが面白い！トイレの横の空間に小さなギャラリーがある。

同じようなことをやっていたのではとり残されてしまう。情報の先取りや行動の先行など、前向き姿勢が大切です。

観光の重要性は増している。観光コース既存の紹介方法だけに捉われず、自分のキャラクターを作りだし「小さな発見！」「楽しみ観光！」の材料を自分で見つけ作り出す。新たなお宝を掘り起してオリジナルな「ものがたり作り観光」を誇りに思い、自信を持って、積極的に、楽しく、明るく、元気に、しかも伸び伸びと活動しようではありませんか。

和泉観光ボランティアクラブ 会長 細川陽徳

和泉市のだんじり祭り！



和泉市のだんじりは35台、古文書でも「段尻」と書かれている歴史ある府中5町を含む和泉大連合が18台、松尾連合が7台、信太連合が9台、池上町が1台の華やかな祭礼です。

和泉だんじり大連合のパレードが10月7日にJR和泉府中駅前周辺で行われ、12時から始まったパレードでは、露払い役の纏を先頭に鉦や太鼓に心を躍らせながら綱を引く小中学生や若者達。団扇の指示も的確に、屋根の上でも軽やかに、地車を進める方々。そろいの法被や華やかな編み込みヘアーに沿道の間々も心が弾みます。

鳴り物のテンポが変われば、曳き手は緊張感を漂わせ真剣な眼差しを見せ走り出し、やりまわしへと続きました。これからもみんなで盛り上げて行きたいですね。来年はぜひご覧ください。

和気小学校3年生校外社会体験学習



『これ誰の写真かわかるかな？ AKB48だね！』子供たちの笑顔を見て「ホッ」とし本題に進めることができた10月19日（金）午前中でした。

『これが木綿！』『木綿って何で作られているのかわかるかな？』『綿の花は朝は白くて夕方になるとピンク色に変わるんだよ！』世界観養成も大事な事と世界地図を見せ、中国から渡ってきた綿の話をして日本の位置をさがさせる。『人造真珠作りには太刀魚の皮を練りつぶして作ったんだよ！』『本物の真珠ってどんなふうにして作られるのかわかるかな？』

火山爆発の映像にビックリ顔。ガラスの源が火山からできたことにまたまたビックリ。『このサラサラとした砂のようなものからガラスができ、孔雀の置物もガラスでつくられているんだよ！』

和泉市でつくられているものへの興味も湧いた子供たち。イキイキとした目の輝きに、将来の観光ボランティアクラブ要員の姿をかい間見る事ができたと同時に、来年への布石に自信を持ち直した半日でございました。

雷を閉じ込めたという雷井戸！

「心ひとつにして♥がんばろう～歩の絆」で呼びかけて全国から約3000名が和泉市をあるいた「和泉弥生ロマン・ツーデーウォーク」で二日目のコースに本寺境内がある。直立不動でウォーカーを見守る。コースを前に前に境内を通過する人。本尊はと質問し、せっかくだからと賽銭を投げ手を合わせていく人。「有難うございますと頭を下げる。」中には拍手を打つ若者もいる。嬉しいのは雷井戸を尋ねてくれる人だ。本堂の横にありますと誘導する。

和泉図会では雷様を閉じ込めたのは、人集まりで…（村人たち）と寺の説明版と同じだが、民話では婆さんの時もあり重源さんに恋する娘だという話もあります。いったい？だれが雷様を閉じ込めて懲らしたのでしょうか。井戸前で話をさせてもらいました。『皆さんもぜひ調査に立ち寄ってください。』『くわばら！くわばら！』雷寺で有名ですが、耳にとってもご利益のある観音様もいます。阿弥陀様もいます。

井戸を足下に、観ボラの武田さんと本堂の廊下で昼食休息。昼食後は本堂に向かって『南無大師遍照金剛』と心で念じて当番に戻りました。私は、雷様を逃がしてやった後に、井戸を石封じた人が誰なのか？何のために？いつも気になります。 俊乗坊重源ゆかりの『西福寺』一度お越しください。（筆：無神無仏）



地元で溶け込む私達のガイド演習

和泉市に来て下さるお客様をガイドする力を養うために続けているガイド演習で、和田一号古墳、金刀比羅宮と男乃宇刀神社を担当する森井と遠藤の演習準備は武田さんの車で下見から始まりました。

存在が殆ど知られておらず、資料も情報も無いに等しい和田一号古墳は、その一角に建てられた手入れの行き届いた金刀比羅宮の傍で、放置された雑木林にしか見えない状態でした。

“どうガイドすればいいのだろう？”・・「秋の大祭 餅まき 和田金刀比羅宮世話人会」のポスターを目にやきつけて、次の地、男乃宇刀神社へ向かいました。

駐車場では運よく宮司の奥様に会い、「狛犬のルーツは？・・鳥居・・石灯笼・・二基の神輿」など、今まで聞いた事のなかった話がどんどん出てきました。

私たちの矢継ぎ早の質問に、時には書物を見ながら丁寧に教えて下さいました。

秋祭りも是非にとお誘い頂き、また皆で出かけました。

宮司の奥様からは、わざわざ調べてくださった情報や間違いの訂正に至るまで電話して下さいなど、思いもかけないご支援をいただきました。

大祭当日の10月10日、金刀比羅宮の世話人会の人達は、準備で忙しくしておられましたが、「チャンスは今しかない」と合間をみて質問させていただきました。

少しの時間ではありましたが親切丁寧に説明してくださり「金刀比羅宮の由緒を渡すから月次祭に取りに来てください」の言葉に…



和泉市に到着後、古墳の案内板を見ながら、古墳の位置を確認し、古墳の周囲を歩きました。古墳の周囲には雑木林があり、古墳の位置はわかりにくかったです。古墳の周囲には雑木林があり、古墳の位置はわかりにくかったです。古墳の周囲には雑木林があり、古墳の位置はわかりにくかったです。

「あ〜何とかなりそう」と、ほっとしたのを覚えています。にぎやかな秋の大祭を目の当たりにして消滅古墳になりかねなかった和田一号古墳が、古墳とは無縁の金刀比羅宮を守り続けた世話人会の人達と地元の人達に守られている無縁の縁を感じたひと時でした。

地元の皆様が観ボラに向けてくださる熱い視線と観ボラ仲間の連帯を感じながら寄稿させていただきました。



建て替えると聞いていた男乃宇刀神社の中の八坂神社の両部鳥居（厳島神社と同型の稚児柱のある鳥居）をもう一度見ておこうと訪れました。時すでに遅く、風情ある両部鳥居は稚児柱もない普通の石の鳥居に替わってしまっていました。無縁の縁で守られた古墳とは対照的に、時代の流れの中で大切と思えるものが消えていく・・言葉にならない想いが残りました。去りがたく何気なく歩み寄った拝殿の傍らに、ひっそりとひと括りの柱の束が僅かに私の心をいやしてくれました。

下の写真は古い鳥居の写真です。新しい鳥居は現地へ来ていただいてご覧いただけますようお願いいたします。



桧良理・智慕里 記

編集雑記

観ボラならではの、身の周りからの情報発信・・
ヨチヨチ歩きのチャレンジを始めました
盛り沢山な話題をお届けします
カメラで切り出した和泉市の身近な秋・・



桃大のキャンパス



横山特産みかん

リサイクル公園のコスモス



みずき台入り口



松尾寺



大阪みどり百選
光明池の散歩道